

# Catch the WAVES!

新潟県立佐渡中等教育学校  
学校だより 令和5年度4月号②  
HP:<http://www.sado-ss.nein.ed.jp>

## 佐渡中等教育学校 第16回 入学式

令和5年4月6日(木)、第16回入学式が挙行され、16期生18人を迎え入れました。新入生はこの3月まで小学生でしたので、まだ初々しく、真新しい制服が体に馴染むのはこれからという生徒も多くいました。担任の先生から一人一人呼名され、白藤恵一校長より入学が許可されました。保護者の皆様、来賓の方々、学校職員に見守られる中、新入生全員が決意を新たに式に臨みました。その後、新入生を代表して、「誓いの言葉」がありました。最後に写真撮影を行い、終始和やかな雰囲気で行うことができました。



## 校長式辞 白藤 恵一 校長

満開の桜の花が春雨に洗われ、生命(いのち)の息吹きみなぎる希望の季節、春本番となりました。

3年にわたるコロナ禍収束の兆しで、アフターコロナ到来を願い、制限・制約が緩和される中、県議会議員 佐藤久雄様、佐渡市長 渡辺 竜五様、佐渡市教育長 新発田 靖様、PTA会長 佐藤 浩司様をはじめ多くの御来賓の御臨席と、保護者の皆様の御出席のもと、令和5年度新潟県立佐渡中等教育学校の入学式を挙行できますことは大きな喜びであり、心から厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可しました18名の新入生の皆さん、入学おめでとう。私たちは、皆さんが入学してくるのを楽しみに待っていました。また、この良き日を迎えられました保護者の皆様には、お子様の御入学を心からお喜び申し上げます。

今年創立16周年を迎える新潟県立佐渡中等教育学校の生徒として、6年間の学校生活の出発点に立った皆さんの入学を心から歓迎いたします。

開校以来「CATCH THE WAVES! 夢を叶える波をつかめ」を校是に「佐渡の歴史と文化に誇りを持ち、豊かな知性と人間性を身に付け、世界的視野で活躍できる人の育成」を教育目標として掲げてきました。

本校では自分を向上させる英知、将来の夢を高く持つための大きな志、これからの社会をたくましく生きていくための活力、様々なものに触れて心を動かす感受性 - この四つをしっかりとつむことができるよう教育活動を進めています。

また、優れた歴史や文化、美しい自然に恵まれたふるさと佐渡の地において、郷土を愛し、地域社会に貢献する態度や資質を育てることをねらいとして「総合的な学習の時間」では、地域探究「佐渡未来学」や、スクールカルチャーである「能楽」を設定し、地域の皆様から御協力いただき、全校生徒で学習に取り組んでいます。

本校の教育活動をとおして、学習と部活動の両立をめざし学校行事に積極的に取り組み、人として必要な資質である次の4点、①人と関わり協働して物事を進めていくためのコミュニケーション能力や表現力、②失敗を恐れず気にしたりせず何度でもチャレンジし続けること、③物事を明るく前向きに捉え自分を大切にすること、そして、④相手の立場に立って考え行動して人を思いやる気持ちを持つことを身に付けてほしいと思います。

さて、新入生の皆さん、保護者の皆様、地元中学ではなく、本校6年間にわたる中高一貫教育での学びを選んだ目的は何ですか。

きっと多くの皆さんが親子でじっくりと話し合い、先を見据え、将来の仕事に繋がる夢の実現のためには学習することが大切であると、本校入学を決意したと思います。しかし本校は勉強ばかりの学校ではありません。バスケットボール部や特設囃伝部をはじめ、限られた時間で心身を鍛え、文武両道をめざし成果を出している生徒が存在する学校です。3月には3年ぶり再開の海外研修旅行(シンガポール・マレーシア7日間)、多岐にわたる学校行事、先取り学習や異年齢集団による深い学び等により本校の魅力、特色を発信し6年間かけて期待に添えるよう全力を尽くしてまいります。皆さんが夢の実現のため、授業と家庭学習、部活動や学校行事等に全力を注ぐことを期待しています。

また、私たちはいじめを許しません。いじめを生まないよう違いを認め合い他者を思いやる人になってください。しかしいじめは起こりうるものとして私たちはいじめを許さず見逃さず、毅然と対応してまいります。

新入生の皆さん、いよいよ今日から佐渡中等生としての活動が始まります。佐渡中等教育学校は、ユネスコスクール

として持続可能な島づくりに貢献する態度や資質を育てるために、地域協働、探究学習、環境保護、人権教育、国際交流、異文化理解等、様々な体験活動を行っています。そして、その取組の基盤にふるさと佐渡のことを深く理解し、誇りと自信を持つという郷土愛がなければならないと考えます。これから皆さんがグローバル社会に羽ばたく時、どこで生まれ育ちどう生きてきたか、自分とはどういう人間か、今後どう生きていくかといった、自分の根っこ、価値観が何であるかをしっかりと相手に伝えることができなければ世界には通用しません。

自分の足元を深く掘り下げていけば、外に向けて発信できるものが必ず見つかります。それを更に磨けば世界に発信できるものになります。

また、社会において、予測できない、答えのない課題解決のために、今後の学校生活において、主体的・対話的に深く学び考え、時には自ら実際その場へ足を運び見聞を広げ、自分の五感を使った体験活動に取り組み探究することで、最適解を見つける力を身に付けてほしいと考えます。

さて、保護者の皆様一言お願い申し上げます。御子様が発達した学校生活を送り、様々な能力を伸長、開花させ、真に自立した大人として育っていくためには、学校と家庭が連携し協力して取り組むことが不可欠であります。御家庭でも時には厳しく、時には優しく、前向きな気持ちを育む御指導をお願いします。

学校としましては、保護者の皆様と連携して教職員一同「生徒第一」を合い言葉に教育にあたります。具体的には、多様性を尊重して様々な価値観を認め合う雰囲気を作り、かけがえない命の大切さや、いじめを許さずいじめ見逃しゼロを訴え、他者への思いやりや自己肯定感の醸成等に努めます。そうすることにより安全・安心な学校づくりをめざし、誰一人取り残すことなく、生徒がたくましく成長できるよう親身に丁寧に支援してまいります。

結びに、新入生の皆さんが、本日の初心を忘れず、将来の夢をかなえる波をしっかりとつかんで、目の前に広がる大海原へと力強く自分の船を漕ぎ出すことを祈念し、式辞とします。



## 「誓いの言葉」 新入生代表

暖かな日差しとともに、吹く風が心地よく感じられるこの佳き日、私たち18名は、佐渡中等教育学校に晴れて入学することができました。

本日は、私たち新入生のためにこのような素晴らしい入学式を挙げていただき、心から感謝いたします。校長先生をはじめ、御来賓の皆様や先輩方からあたたかい御言葉を頂戴し、佐渡中等教育学校の生徒の一員となる実感が湧くとともに、安心と喜びを感じています。

私たちは、今日から新たな生活への第一歩を踏み出します。新しい友達との出会いや、勉強、部活動など、これからの学校生活のことを考えると、希望と期待で胸がいっぱいです。その一方で、難しくなる学習や、新しい環境に対する不安もあります。ですが、失敗をおそれず、何事にもチャレンジし、全力で取り組みたいと思います。また、6年間の学校生活の中では、たくさんの困難に直面することもあると思います。ですが、先生方や先輩方から多くのことを学び、仲間とともに乗り越えていきます。

さて、世界に目を向けると、戦争をしている国、飢餓や貧困で苦しんでいる国、地震などの災害により避難を余儀なくされている国が多くあり、深い悲しみを感ずります。そのような状況の中でも、私たちは、この恵まれた環境で勉強ができることに感謝しなければならないと思います。また、毎日の生活や学習に取り組む中で、私たちができることを考えていく必要があるとも思います。

今日からの6年間は、必要な知識を身につけ、様々なことを経験し、人として成長するために大切な時期です。仲間とともに助けあい、日常生活が平穏に送れることに感謝し、1日1日を大切に過ごしていきたいです。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、先生方、上級生の皆様、まだ何も分からない私たちですが、温かく、時には厳しい御指導をよろしく願いいたします。また、お忙しい中入学式においでくださった皆様、いつも私たちを支えてくれる保護者の皆様、ありがとうございます。私たちが成長する姿を温かく見守っていただけるとうれしいです。

私たちは、これから佐渡中等教育学校の生徒としての自覚をもち、それぞれの夢を叶えるために日々努力し、実りある学生生活を送ることをお約束し、新入生の誓いの言葉といたします。